

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西郷村新庁舎	階数	地上2F
建設地	福島県西白河郡西郷村大字熊倉字	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	1,000 人
地域区分	4地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2023年3月31日
敷地面積	22,068 m <sup>2</sup>	作成者	小林一文
建築面積	4,028 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月31日
延床面積	6,197 m <sup>2</sup>	確認者	長田純一



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.1** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	49%
③上記+②以外の	49%
④上記+	49%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.3**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.9**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>新庁舎の特徴は建物の中心に据えられた(仮称)村民ラウンジである。ラウンジを囲むように窓口や議場・保健センター・会議室が配置され、どこに何があるかが一目で分かるとともに、それぞれの活動がラウンジに溢れだす、西郷村のいきいきとした新拠点の顔になるように考えた。ほかにもNearly ZEBという高い省エネ環境性能や、耐震性を確保しながらも広々と開放的な構造計画など工夫を凝らして設計をまとめた。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>設計時NealyZEBを達成しており高い省エネ性能を有している。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>遮音性の高い床、壁、建具とし良好な音環境とした。また、温熱環境においても空調能力やゾーン制御により十分な性能を保持している。一方、代表居室が外部に面していない扱いとなるため、光環境においては不利な評価</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>建物の中心に据えられた村民ラウンジはリフレッシュスペースも兼ねている。建物全体に維持管理に配慮した材料、工法を選定している。また、重要度係数1.5とし行政拠点施設として高い耐震性を確保した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BPIは0.63であり外皮の熱負荷低減が高いレベルで実施されている。またBEIは0.24であり設備システムにおいても高いレベルで高効率化がなされている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>主要水栓には自動水栓をもちいており、擬音装置、節水型便器を採用している。またノンフロン断熱材を用いる等の配慮を行っている。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>2階建てと低層の建物構成とし、周囲に圧迫感の無いよう配慮している。また、多目的広場にはシンボルツリーを配置するとともに舗装チップに白河市を用いている。室外機はまとめて屋上へ配置し、周囲への影響が少なくなるよう</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LCCO<sub>2</sub>の概算値は参照値に対して50%以下であり高いレベルであると言える。敷地周辺との関係に比較的ゆとりがあることから、規制や与える影響も少ないといえる。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される